

平成29年度当初予算案

主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主要事項説明資料目次

農 林 水 産 部

ページ	事業名	担当課
1	京の食ビジネス改革事業費	各課
2	京都移住促進プロジェクト事業費	共通
3	集落営農総合対策事業費	経営支援・担い手育成課
4	「おいしい京都」府内戦略事業費	流通・ブランド戦略課
5	「おいしい京都」首都圏戦略事業費	各課
6	京の地域特産物応援事業費	農産課
7	京のおもてなし ^{はなぐだものがたり} 「花果物語」文化発信事業費	農産課
8	京都農人材育成総合対策事業費	経営支援・担い手育成課
9	3万農家総元気づくり事業費	経営支援・担い手育成課、 流通・ブランド戦略課
10	農林女子の活躍支援事業費	経営支援・担い手育成課、 流通・ブランド戦略課
11	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	食の安心・安全推進課
12	京野菜スクールガーデン事業費	食の安心・安全推進課
13	食の ^み 味らい故郷づくり事業費	食の安心・安全推進課
14	食品ロス削減事業費	食の安心・安全推進課
15	中山間地域等直接支払事業費	農村振興課
16	「命の里」農山漁村里力再生事業費	農村振興課
17	「公共員」配置推進費	農村振興課
18	耕作放棄地再生推進事業費	経営支援・担い手育成課
19	アグリイノベーション創出事業費	流通・ブランド戦略課
20	「お茶の京都」を支える宇治茶生産総合対策事業費	農産課
21	茶業研究所機能強化事業費	流通・ブランド戦略課
22	京都牛輸出促進1億円事業費	畜産課
23	農地集積規模拡大支援事業費	経営支援・担い手育成課
24	農と環境を守る地域協働活動支援事業費	農村振興課
25	林業「森世紀」創造戦略事業費	共通
26	ポスト育樹祭開催事業費	モデルフォレスト・全国育樹祭推進課
27	京都モデルフォレスト推進事業費	モデルフォレスト・全国育樹祭推進課
28	保安林等適正整備事業費	林務課、森林保全課
29	有害鳥獣被害半減総合対策事業費	森林保全課
30	農林水産業基盤整備事業費	共通

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費		
予算額	481,611千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 農林水産業者の所得向上のため、マーケットインの強化から生産・加工体制の構築、販路拡大まで、6次産業化を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p><マーケットニーズの把握>（一部新規） 6,900千円 【農産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外食産業等企业ニーズの掘り起こしや消費者ニーズの把握を実施し、産地へのマッチングを支援 <p><商品開発・ブランド化支援>（一部新規） 109,279千円 【経営支援・担い手育成課、流通・ブランド戦略課、農産課、畜産課、水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府内農林水産物のブランド力向上に資する商品・サービスの開発を支援 <p><生産・加工体制の構築>（一部新規） 281,700千円 【経営支援・担い手育成課、流通・ブランド戦略課、農産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府内農林水産物の生産向上に資する施設などの整備を支援 <p><販路拡大>（一部新規） 83,732千円 【経営支援・担い手育成課、食の安心・安全推進課、流通・ブランド戦略課、農産課、畜産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府内農林水産物の輸出促進や、複数の農業法人等が連携して農業生産や販路開拓を行う取組を支援 		
担当課名	経営支援・担い手育成課 食の安心・安全推進課 流通・ブランド戦略課 農 産 課 畜 産 課 水 産 課	農業ビジネス担当 食育・地産地消担当 農業流通・販売戦略担当 京の米・豆・保険担当 京野菜振興担当 環境にやさしい農業推進担当 畜産振興担当 漁政企画担当	課・担当 電話番号 075-414-4908 075-414-5656 075-414-4964 075-414-4953 075-414-4967 075-414-4961 075-414-4983 075-414-4992

京の食ビジネス改革事業費

	米	野菜	畜産	水産
【マーケットニーズ把握】 6,900千円	京都農業経営強化事業費 [実需者ニーズの把握]			
	「京のプレミアム米」創造事業費 [ビッグデータを活用した食嗜好データ分析]			
【商品開発・ブランド化支援】 6次産業化商品開発力強化 事業費 109,279千円	京の食6次化ビジネス創出支援事業費 [6次産業化による新商品開発]			
	「京のプレミアム米」創造事業費 [京都オリジナル米新品種開発等]			
【生産・加工体制の構築】 6次産業化生産力強化 事業費 281,700千円	京力農場づくり事業費 [経営規模に応じた加工処理施設、機械等の整備]		畜産ブランド・収益力強化事業費 [和牛のおいしさ成分に基づくブランド力の強化]	京都産水産物生産・流通拡大事業費 [生食用カキの試験生産用施設の導入等]
	京都農業経営強化事業費 [加工処理施設、機械等の整備]			
	「京のプレミアム米」創造事業費 [味噌用加工米等の開発等]			
	京の食6次化ビジネス創出支援事業費 [加工・集出荷貯蔵施設、機械等の整備]			
【販路拡大】 6次産業化販売力強化 事業費 83,732千円	京の食6次化ビジネス創出支援事業費 [「京の食6次産業化コンテスト」開催等]			
	京都農業経営強化事業費 [農業法人等のネットワーク構築による販売支援]			
	京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業費 [「京もの提供店」海外展開等]			
	「京のプレミアム米」創造事業費 [「京の美味しいお米コンペ」開催等]			
計 481,611千円	81,000千円	345,532千円	30,379千円	24,700千円

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 京都農業経営強化事業費		
予算額	164,500千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 府内産農産物を求める外食産業等の企業ニーズと生産者を結びつけ、マーケットインによる儲ける農業を実現</p> <p>2 事業概要</p> <p>＜マーケットニーズの把握＞ (1) 「京の食 6次産業化を進める経済人会」活動支援事業費 1,500千円 【農産課】 産地調査や意見交換会等を通じ、経済界（実需者）と産地の相互理解、信頼関係の構築を図り、KYO農食材御用聞きによるマッチング活動を支援</p> <p>＜マーケットニーズの把握＞の (2) 実需ニーズ発掘・KYO農食材御用聞き設置事業費 2,400千円 【農産課】 KYO農食材御用聞きによる実需ニーズの掘り起こしと、産地へのマッチングを支援（㉘5名→㉙6名）</p> <p>＜販路拡大＞ (3) 農業法人等販売力強化支援事業費 6,000千円 農業法人等のネットワーク構築による販売支援 【経営支援・担い手育成課】</p> <p>＜生産・加工体制の構築＞ (4) 6次産業向け体制整備事業費 40,600千円 実需ニーズの強い生産現場での一次処理・加工に必要な機械整備等を支援 【農産課】</p> <p>＜生産・加工体制の構築＞ (5) 京野菜生産加速化事業費 114,000千円 ブランド京野菜等の生産に必要な機械・施設の整備等を支援 【農産課】</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農 産 課	農業ビジネス担当 京野菜振興担当	課・担当 電話番号 075-414-4908 075-414-4967

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 「京のプレミアム米」創造事業費		
予算額	81,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 米政策の見直しに先立って、「京の米」の新たな需要を創造し、消費者ニーズに応える戦略的な米の生産・流通を実現</p> <p>2 事業概要 <マーケットニーズの把握></p> <p>(1) マーケットデータ活用型「京の米」等の農産物需要創造事業費 3,000千円 ビッグデータを活用して消費者ニーズを把握し、新たな需要を創造</p> <p><商品開発・ブランド化支援></p> <p>(2) 「京の米」オリジナル品種開発事業費 13,000千円 先行産地に打ち勝つ競争力のあるオリジナルの良食味米を開発</p> <p><販路拡大></p> <p>(3) 「京の米」ベンチャーコンペティション事業費 3,500千円 市場評価向上等を図るため、おいしい米のコンペを開催</p> <p><商品開発・ブランド化支援></p> <p>(4) 「京の米」6次産業化事業費 1,700千円 潜在ニーズに対応した提案型の新商品づくりを支援</p> <p><生産・加工体制の構築></p> <p>(5) 「京の米で京の味づくり」事業費 2,100千円 京の地場産業からの具体的ニーズに対応するための取組を支援</p> <p><販路拡大></p> <p>(6) 「京の米」ニューフロンティア開拓事業費 2,700千円 「京の米」に関する情報を一元化して広くPRし、販路開拓につなげるための情報交流サイトを構築</p> <p><生産・加工体制の構築></p> <p>(7) 「京の米」生産イノベーション事業費 55,000千円 需要に対応した生産販売の高度化に必要な機械・施設等の整備を支援</p>		
担当課名	農 産 課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4953

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 京の食6次化ビジネス創出支援事業費		
予算額	56,900千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 (目的対象方法等)	1 趣 旨 産地と食品関連企業が連携した新商品開発や「学ぶ・食べる・買う」の機能をもつ「京野菜ランド」の販売力強化等6次産業化の取組を支援		
	2 事業概要 (1) プロジェクト活動支援事業費 (一部新規) 36,500千円 〈商品開発・ブランド化支援 32,500千円〉〈販路開拓 4,000千円〉 農林漁業者と食品関連企業が連携した取組(①)及び農業法人等の6次化の取組(②)を、「京の農業応援隊」による伴走や加工技術、マーケティング等の専門家派遣により支援 【経営支援・担い手育成課、流通・ブランド戦略課】		
	補助対象者	①農林漁業者及び食品関連企業等 ②農業法人等	
	補助対象経費	商品開発に必要な試作のための原材料費、加工品開発用機器のリース、分析・検査委託、販路開拓等に要する経費	
	補助率等	①申請者が企業又は連携体 1/3 (補助上限額：原則6,000千円/3年) 申請者が農林漁業者 1/2 (補助上限額：原則2,000千円/3年)	
		②申請者が農業法人等 2/3 (補助上限額：原則 500千円/1年)	
	(2) 食品加工業者施設等整備支援事業費 10,000千円 〈生産・加工体制の構築〉【流通・ブランド戦略課】		
	補助対象者	食品関連企業 (中小企業)	
	補助対象経費	加工製造施設等の整備	
	補助率	3/10 (補助上限額：10,000千円)	
(3) 京野菜ランド拡大・強化事業費 9,200千円 〈販路開拓〉 「学ぶ、食べる、買う」の機能をもつ「京野菜ランド」の拡大と機能強化を支援 【食の安心・安全推進課】			
補助対象者	京野菜ランドへの登録を目指す直売所 等		
補助対象経費	イトイコーナーの整備 POSシステム導入等	食農体験施設整備 等	残留農薬検査 衛生講習費用等
補助率	1/2 (補助上限： 2,000千円)	1/2 (補助上限： 1,000千円)	2/3 (補助上限： 200千円)
(4) 京の食6次産業化コンテスト開催事業費 (新規) 1,200千円 〈販路開拓〉【流通・ブランド戦略課】 府内農林漁業者が行う6次産業化等の取組の中で、優れたものに対して表彰を行う			
担当課名	経営支援・担い手育成課 食の安心・安全推進課 流通・ブランド戦略課	農業ビジネス担当 食育・地産地消担当 農業流通・販売戦略担当	課・担当 電話番号 075-414-4908 075-414-5656 075-414-4964

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 畜産ブランド・収益力強化事業費		
予算額	30,379千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産和牛のブランド力向上及び増産を図ることで、畜産・酪農経営の収益力を強化</p> <p>2 事業概要 ＜商品開発・ブランド化支援＞</p> <p>①京都ビーフプレミアム戦略事業（一部新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛の「おいしさ」の成分（オレイン酸、脂肪融点等）を測定し、オレイン酸優良遺伝子を保有する受精卵を採取、乳牛等に移植し、高品質和牛を増産 <p>②京都ビーフ生産拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受胎不全牛を碓高原牧場で受胎させ、高能力和牛子牛を増産 <p>③酪農生産率向上対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳用雌牛の性判別精液の授精経費補助により、高能力乳用雌牛を増頭 		
担当課名	畜産課 畜産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4983

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業費		
予算額	31,200千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産水産物の生産・流通拡大、次世代の担い手育成により漁業・漁村を活性化</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都産水産物生産・流通拡大事業費 24,700千円 <商品開発・ブランド化支援></p> <p>①地域ブランドの新技术開発、生産拡大（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用カキの試験生産用施設の導入・生産技術の開発 ・トリガイ養殖施設などの生産設備の導入支援 （府1／2、事業者1／2） <p>②府内産水産物の生産、販路拡大（一部新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の京都」DMO等の関係団体が連携し、地産地消の取組支援、流通加工設備導入・試作品開発支援 <p>(2) 漁業・漁村の未来を担う若い漁業者育成事業費 6,500千円</p> <p>①漁業協同組合が行う漁船・漁具のリース事業を支援し、新規就業者（海の民学舎修了1期生等）の初期投資の負担を軽減 （新規）</p> <p>②新規就業者のスキルアップ研修、漁業経営・リーダー養成研修の実施（新規）</p>		
担当課名	水産課 漁政企画担当	課・担当 電話番号	075-414-4992

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 京力農場づくり事業費		
予算額	60,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 (目 的 対 象 方法等)	<p>1 趣 旨 農業経営体の法人化、経営多角化や6次産業化などの取組を支援し、農作業受託や農地集積、契約栽培等を推進することで、力強い農業経営構造への転換を促進</p> <p>2 事業概要</p> <p>○企業の農業経営体づくり事業 <生産・加工体制の構築> 6次産業化による農業経営体の経営強化を、ビジネスプランの作成・ブラッシュアップや施設・機械整備助成により支援</p> <p>①農業経営体育成事業 6次産業化などにより販売金額1億円を目指す農業法人等の取組を支援</p> <p>②農企業者育成事業 営農の規模拡大により販売金額2千万円を目指す農業者等の取組を支援</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4908

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の食ビジネス改革事業費 京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業費		
予算額	340,000千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 ブランド力の向上及び輸出の支援により、販路を拡大し、農家の所得向上を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>＜体 制 面＞ 2,500千円〈販売戦略〉 農産物輸出支援事業費 【経営支援・担い手育成課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出相談窓口の設置 ・ 農産物等輸出サポート隊の設置、派遣 <p>＜生 産 面＞ 1,500千円〈販売戦略〉 国際水準GAPモデル農場設置事業（新規） 【農 産 課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出の取引基準となる国際水準のGAPを取得するため、公的機関では西日本初となるモデル農場を設置 <p>＜流 通 面＞ 318,000千円 卸売市場輸出拠点化事業費（新規） 【流通・ブランド戦略課、畜産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市中央卸売市場第二市場及び京都府南部地方総合卸売市場の整備に対する支援 <p>＜販 売 面＞ 18,000千円〈販売戦略〉 「おいしい京都」世界戦略事業費（一部新規） 【流通・ブランド戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度向上による需要拡大のため、海外でのフェア開催や「京もの提供店」の海外展開等販売促進活動を実施 		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当 流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当 農業流通・販売戦略担当 農 産 課 環境にやさしい農業推進担当 畜 産 課 畜産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4908 075-414-4941 075-414-4964 075-414-4961 075-414-4983

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業費 国際水準GAPモデル農場設置事業費		
予算額	1,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>輸出の取引基準となる国際水準GAPの農家取得を推進するため、モデル農場を設置</p> <p>2 事業概要</p> <p>GAPによる農業生産に必要な機器・資材の導入、残留農薬分析、先進地視察等を実施し、府内初となる国際水準GAPの認証を取得したモデル農場を新設</p> <p>事業実施主体：京都府</p> <p><GAP（農業生産工程管理）とは> 農業生産工程管理（GAP：Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動</p>		
担当課名	農 産 課 環境にやさしい農業推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4959

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業費 卸売市場輸出拠点化事業費		
予算額	318,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>京都市中央卸売市場第二市場及び京都府南部地方総合卸売市場の整備に対する支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都牛輸出促進1億円事業 10,000千円 京都市中央卸売市場第二市場の整備等に対する支援 【畜産課】</p> <p>(2) 南部総合地方卸売市場物流機能強化事業 308,000千円 京都府南部地方総合卸売市場の整備に対する支援 【流通・ブランド戦略課】</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 畜産課	農業流通・販売戦略担当 畜産振興担当	課・担当 電話番号 075-414-4964 075-414-4983

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業費 「おいしい京都」世界戦略事業費		
予算額	18,000千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 認知度向上による需要拡大のため、海外でのフェア開催や「京もの提供店」の海外展開等販売促進活動を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 「Kyoto Beef 雅」輸出拡大事業 3,000千円 【畜産課】 海外での試食会開催や商談会参加、PR資材作成等により海外商流及び海外でのブランドを確立</p> <p>(2) 「京もの提供店」海外展開事業（新規） 5,000千円 【流通・ブランド戦略課】 香港等において、周年で府内産農林水産物を提供する「京もの提供店」への認定を進め、新規販路を開拓</p> <p>(3) 京の農産物輸出ビジネス支援事業（新規） 2,000千円 【流通・ブランド戦略課】 地方卸売市場から出荷される府内産農林水産物の海外におけるテスト販売を支援</p> <p>(4) 京野菜情報発信強化事業（新規） 3,000千円 【流通・ブランド戦略課】 京野菜販売支援ツールとして活用できる京野菜紹介ホームページを整備</p> <p>(5) 京「旬の食」逸品フェア開催事業（新規） 5,000千円 【流通・ブランド戦略課】 香港において、料理教室や試食コーナーを併設したフェアを開催し消費拡大を促進</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当 農業流通・販売戦略担当 畜産課 畜産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4941 “ 075-414-4983

平成29年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費		
予算額	262,975千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした都市との共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力ある地域を創出</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都で「夢実現」住まいづくり事業費（一部新規） 111,600千円 【農村振興課】 空家改修、企業や市町村と連携した賃貸住宅等の整備により、移住者のニーズに応じた住まいづくりを支援</p> <p>(2) 京都で「夢実現」仕事づくり事業費（一部新規） 79,230千円 【企画総務課、総合就業支援室、農村振興課】 スモールオフィス開業の支援や営農指導、U・I・Jターンコーナー・ナビの設置等により、移住者のニーズに応じた仕事づくりを支援</p> <p>(3) 京都で「夢体験」未来交流事業費（一部新規） 13,900千円 【農村振興課】 農家民泊の開設や2地域居住者向けの住宅改修の支援等により、農村と都市の交流を促進</p> <p>(4) 京都移住促進事業費 58,245千円 【農村振興課】 京都移住コンシェルジュによる相談や「税の軽減+補助金の交付+金利負担の軽減」のパッケージで移住者を伴走支援</p>		
担当課名	企画総務課 総務企画担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4336 075-682-8913 075-414-4906

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢実現」住まいづくり事業費		
予算額	111,600千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者を確保するため、空家改修、企業や市町村と連携した賃貸住宅等の整備により、移住者のニーズに応じた住まいづくりを支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>「移住促進特別区域」内における住まいの設置を重点的に支援</p> <p>(1) 企業連携タイプ（企業連携移住促進事業）（新規） 地域協議会等と連携する企業、団体等の、移住者の確保を目的とした住まい（宿舍、賃貸住宅等）の設置を支援 補助率等：府1/3、市町村1/3（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>(2) 市町村連携タイプ（「こだわりの住まい」まちづくり事業）（新規） 市町村が実施する、府内産木材の活用等によるこだわりの移住者向け住まいの施設整備を支援 補助率等：府1/2（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>※（1）、（2）に係る住宅の設置や住環境の整備等の具体的な構想づくりを別途支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限2,000千円/地区）</p> <p>(3) ホームシェアタイプ（ホームシェア移住支援事業）（新規） 地域住民の自宅の一部（いわゆる「離れ」を想定）を賃貸等する場合の整備を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限1,000千円/戸）</p> <p>(4) 空家活用タイプ（移住者支援事業）</p> <p>① 移住促進住宅整備事業 取得又は賃借等した空家の改修に要する経費を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限1,800千円/戸）</p> <p>② 空家流動化促進事業 空家を移住者に売却・賃貸するために必要な家財の撤去等を支援 補助率等：府1/2、市町村1/2（補助対象事業費：上限100千円/戸）</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成29年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢実現」仕事づくり事業費		
予算額	79,230千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者を確保するため、スモールオフィス開業の支援や営農指導、U I Jターンコーナー・ナビの設置等により、移住者のニーズに応じた仕事づくりを支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 移住者起業支援事業費（新規） 【農村振興課】 小規模店舗・事務所等の開設に必要な設備整備等を支援 補助率等：府1/3、市町村1/3（補助対象事業費：上限 4,500千円）</p> <p>(2) 耕作放棄地再生推進事業費の一部 【経営支援・担い手育成課】 移住者向け営農指導者の設置や再生利用のための簡易な基盤整備を支援</p> <p>(3) 京都農人材育成総合対策事業費（人材確保事業）の一部 【経営支援・担い手育成課】 実践農場を設置し、技術習得から地域への定着までを支援</p> <p>(4) スマートワーク・イン・レジデンス事業費（新規） 【企画総務課】 市町村が実施する、企業のサテライトオフィスやテレワーク拠点の整備等を支援 補助率：府1/2</p> <p>(5) 京都ジョブパーク事業費（U I Jターンコーナー） 【総合就業支援室】 京都ジョブパークにU I Jターンコーナーを設置し、U I Jターン就職を推進</p>		
担当課名	企画総務課 総務企画担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 農村振興課 地域活性化担当 経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 農地担当	課・担当	電話番号 075-414-4336 075-682-8913 075-414-4906 075-414-4942 075-414-4902

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都移住促進プロジェクト事業費 京都で「夢体験」未来交流事業費		
予算額	13,900千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>地域の新たな担い手となる移住者の確保につなげるため、農家民泊の開設や2地域居住者向けの住宅改修の支援等により、農村と都市の交流を促進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京のふるさと暮らし体験推進事業費（新規） 【農村振興課】 滞在型農山漁村体験の受入に必要な施設や住宅の改修を支援し、農家民泊や2地域居住の拡大を推進</p> <p>① 滞在型農山漁村体験施設 実施主体：農林漁業者等であって、農村・山村・漁村滞在活動に必要な役割を提供できる者 ※教育体験旅行を実施する地域協議会に民泊受入の登録をすること 補助率等：府1/2（補助対象事業費：上限 3,000千円）</p> <p>② 滞在型交流農園施設 実施主体：2地域居住等の希望者に宿泊可能な施設と農地をセットで貸し付け農業指導等が行える者 補助率等：府3/10（補助対象事業費：上限 6,000千円）</p> <p>(2) 京都版ふるさとCSA支援事業費（新規） 【農産課】 農産物の直接購入や援農体験など、農産物を通じた消費者と農村の交流から移住への誘導や個人ブランドの確立を図る</p> <p>※ 京都版ふるさとCSA 消費者が農林水産業を守る意識を生産者と共有しながら農作業の手助けや農産物を購入するなど農村の素晴らしさを身近な人に伝え、農村を応援するシステム</p> <p>(3) 京都農人材育成総合対策事業費（人材育成推進事業）の一部 【経営支援・担い手育成課】 丹後王国「食のみやこ」における農家民宿の開業準備・実践研修の実施</p>		
担当課名	農村振興課 経営支援・担い手育成課 農 産 課	地域活性化担当 新規就業・人材育成担当 京の米・豆・保険担当 京野菜振興担当	課・担当 電話番号 075-414-4906 075-414-4942 075-414-4961 075-414-4944

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	集落営農総合対策事業費		
予算額	70,000千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>持続可能な集落営農組織の育成に向け、後継者の確保から経営の多角化や規模拡大など経営の発展段階に応じた支援の実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 後継者育成型（新規） 集落営農組織の将来的な担い手として組織に従事しながら、自ら農業経営を行う新規就農者の育成を支援</p> <p>(2) 集落ビジネス型（新規） 女性や高齢者など集落営農組織の多様な担い手が活躍するための経営の多角化（加工・販売施設整備等）の取組を支援</p> <p>(3) 農地集積型 担い手が不足する集落を牽引することのできる地域の核となる集落型農業法人の経営力強化（機械・施設整備等）の取組を支援</p> <p>(4) 集落・企業連携型（一部新規） 集落営農組織又は企業等との連携によりコスト軽減や規模拡大など経営力強化（機械・施設整備等）の取組を支援</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4908

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「おいしい京都」府内戦略事業費		
予算額	29,910千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 府内において、きめ細やかな消費拡大策による農林水産物の販売戦略を実施</p> <p>2 事業概要 府内における京野菜等の魅力発信・消費拡大 29,910千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おいしい京都」の魅力を府内各地に向かって発信するため、府内産農林水産物をPRする食のイベントを開催 ・府内の量販店等において京野菜専用コーナー（京野菜マルシェ）を設置し、京野菜等の販売力を強化 ・「京の食文化ミュージアム あじわい館」における食文化と府内産農林水産物の情報発信 		
担当課名	流通・ブランド戦略課	ブランド推進担当	課・担当 電話番号 075-414-4941

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「おいしい京都」首都圏戦略事業費		
予算額	16,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 メディア等の発信力が高い首都圏における京野菜等の需要拡大策を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 首都圏市場における京野菜の需要拡大 11,000千円 【流通・ブランド戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏市場の主な顧客である料飲店及び加工業者などを対象として九条ねぎや万願寺とうがらし等の京野菜に加え、京だけのこの新たな需要を開拓 ・首都圏有名百貨店や高級スーパーマーケットに京野菜の専用販売コーナーを設置（京野菜マルシェ）し、夏と秋に重点的に販売を促進（京野菜マルシェ） ・京野菜をはじめとした府内産農林水産物を利用した料理を提供し、その魅力を発信する「旬の京野菜提供店」の認定により需要を拡大 ・首都圏における京野菜等の需要拡大を戦略的に推進する人材を配置 <p>② 「おいしい京都」フェアの開催 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京のこだわり畜産物や丹後産海産物を都内有名百貨店等で京野菜とともにPR 【流通・ブランド戦略課、畜産課、水産課】 ・宇治茶をおいしく淹れ、その魅力を伝える「宇治茶カフェ」を首都圏で拡大 【農産課】 		
担当課名	流通・ブランド戦略課 農産課 畜産課 水産課	ブランド推進担当 宇治茶・特産振興担当 畜産振興担当 漁政企画担当	課・担当 電話番号 075-414-4941 075-414-4944 075-414-4983 075-414-4992

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の地域特産物応援事業費		
予算額	19,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 趣 旨 実需者から強い要望のある小豆、黒大豆、大豆、小麦、そばなどの地域特産物を実需者と結びつけながら生産拡大や品質向上を支援		
	2 事業概要 《対象作物》 主食用米、酒造好適米、加工用米、米粉用米を除く作物		
	(1) 条件整備事業		
	補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体、農業生産法人等	
	補助対象経費	①対象作物の生産に必要な農業機械の導入を支援 ②対象作物を新たに生産し始めるために必要な種苗費、資材費等を支援	
	補助要件	実需者からの具体的なオーダーに基づいた生産の実施 当該作物の生産量増加又は品質向上に資する計画の策定	
	補助率等	4 / 10 以内 (②は補助上限額 500 千円/事業主体 又は、補助対象面積上限 1 h a のいずれか小さい方) (地域振興 4 法 (特定農山村・山村・過疎・半島) 等 対象地域の場合、1 / 2 以内)	
	(2) 推進事業		
	補助対象者	市町村、JA、3戸以上の農業者で組織する団体等	
	補助対象経費	対象作物の生産に必要な栽培実証活動や、生産拡大に向けた実需者との計画協議等の実施を伴走的に支援	
補助要件	実需者からの具体的なオーダーに基づいた生産の実施 当該作物の生産量増加又は品質向上に資する計画の策定		
補助率等	定 額 (補助上限額 300 千円/事業主体)		
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4953

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京のおもてなし「 <small>はなくだものがたり</small> 花果物語」文化発信事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産花き・果物の販売増に向け、京の花果物語おもてなしネットワークを構築し、情報発信や販路開拓を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>花と果物が持つ京都の文化や歴史を掘り起こし、これらを活用して文化と花果物を一体的に発信することで、府内産花きと果樹に新たな価値を付加し、京都らしい生産・販売を展開</p> <p>事業主体：京の花果物語おもてなしネットワーク（仮称） 府内産花き・果樹の若手生産者および業界関係者で構築</p>		
担当課名	農 産 課 京 野 菜 振 興 担 当 宇治茶・特産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4944 "

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都農人材育成総合対策事業費		
予算額	586,723千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>攻めの農業への転換を図るため、オール京都体制で「京都農人材育成センター」を運営し、京の農業応援隊（農業改良普及センターなど）による技術研修などの伴走支援に加え、段階に応じた経営研修を一体的に実施することで、高度な経営感覚を持つ農人材を育成</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都農人材育成センター事業 69,676千円</p> <p>①人材確保事業 「農林水産業ジョブカフェ」「就農インターンシップ」「担い手養成実践農場」により、新規就農・就業の相談から体験・研修・就農・就業までをトータルで支援</p> <p>②人材育成事業 農業者のそれぞれの段階に応じた研修を企画、実施</p> <p>(2) 人材育成支援事業 517,047千円</p> <p>①農業次世代人材投資事業 (420,350千円) 研修中や就農直後の生活安定を資金交付で支援</p> <p>②若手農業者等支援事業 (2,925千円) 認定新規就農者等の機械リースに要する経費に対し補助</p> <p>③認定農業者等支援事業 (20,834千円) アドバイザー派遣などによる法人化支援</p> <p>④農業ビジネス支援事業（一部新規） (52,132千円) 専門家派遣による輸出や販売力強化支援</p> <p>⑤農産物輸出支援事業 (2,500千円) 輸出コーディネータの設置による農産物の輸出支援</p> <p>⑥農業後継者定着促進事業 (12,306千円) 就農研修資金の償還に対する助成</p> <p>⑦人材育成推進事業 (6,000千円) 丹後王国「食のみやこ」での食人材育成</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4942 075-414-4908

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	3万農家総元気づくり事業費		
予算額	23,100千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣 旨 「京の農業応援隊」や外部人材を活用し、伴走支援を強化することで、多様なニーズに対応する施策を実施		
	2 事業概要 (1) 多様な担い手の確保・育成		
	① 農外企業農業参入支援事業費 4,000千円 【経営支援・担い手育成課】 農外企業の農業参入から経営の安定まで、ワンストップ相談窓口 (農業総合支援センター)等により支援		
	補助対象者	(公社)京都府農業総合支援センター	
	補助対象経費	農業参入サポート経費	
	② 集落営農総合対策事業費(うち企業連携型) 3,000千円 【経営支援・担い手育成課】 企業等から人材の派遣を受け、生産・販売等の経営改革を行う集落 営農組織を支援		
	補助対象者	集落営農組織と企業等の連携体	
	補助対象経費	人材派遣費	
	補助率等	1/2(補助上限額 3,000千円)、2年間	
	③ 小さな経営革新チャレンジ支援事業費 10,000千円 【流通・ブランド戦略課】 小規模専業農家等を育成・定着させるため、販路開拓などにチャレンジ する取組を「京の農業応援隊」により伴走支援		
補助対象者	農業者及び農業者等が組織する団体		
補助対象経費	農産物生産、流通・販売、6次産業等の分野における 経営改善に向けた新規チャレンジの取組に係る経費		
補助率等	2/3(補助上限額 200千円)		
(2) 兼業農家の営農継続を支援 援農マッチング事業 6,100千円 【流通・ブランド戦略課】 都市部の農業に興味のある府民などが、農繁期などに農業者を援農し、 農作業の負担を軽減するためのマッチングを実施			
担当課名	経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当 流通・ブランド戦略課 農業流通・販売戦略担当 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4908 075-414-4964 075-414-4968

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農 林 女 子 の 活 躍 支 援 事 業 費										
予算額	15,000千円	新規・継続の別	継 続								
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 農林業に従事する女性（農林女子）を農林業の重要な担い手として育成するため、農林女子の職場環境を整備し、女性向けの機能性商品を開発</p> <p>2 事業概要</p> <p>（1）元気な女性雇用促進事業費 10,000千円 【経営支援・担い手育成課】 女性の雇用を促進し、農業ビジネスや経営規模拡大に取り組む農業経営体等に対する支援</p> <table border="1"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>販売額2千万円以上を目指す農業経営体等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>農業生産機械、加工施設、女性の雇用促進に向けた職場環境整備費等</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>女性の雇用等を一定拡大すること</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>40%以内</td> </tr> </table> <p>（2）京の農林女子パワーアップ支援事業費 5,000千円 【流通・ブランド戦略課】 女性が農業に参入・従事しやすいよう軽量剪定バサミや農林女子用作業服など、企業と連携し女性向け商品を開発</p>			補助対象者	販売額2千万円以上を目指す農業経営体等	補助対象経費	農業生産機械、加工施設、女性の雇用促進に向けた職場環境整備費等	補助要件	女性の雇用等を一定拡大すること	補助率	40%以内
	補助対象者	販売額2千万円以上を目指す農業経営体等									
補助対象経費	農業生産機械、加工施設、女性の雇用促進に向けた職場環境整備費等										
補助要件	女性の雇用等を一定拡大すること										
補助率	40%以内										
担当課名	経営支援・担い手育成課 流通・ブランド戦略課	農業ビジネス担当 農業流通・販売戦略担当	課・担当 電話番号 075-414-4908 075-414-4964								

平成29年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部
農林水産部

事業名	きょうと「食の安心・安全」確保事業費		
予算額	31,291千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 食の安心・安全行動計画改定等を踏まえ、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食に関する情報発信、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>○ 食の安心・安全情報発信 (1,000千円) ② 府民の「食」の総合的な学びの場として教育機関とともに「食の府民大学」を開講し、食品関連事業者等と連携して幅広い情報を府民に提供することで、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 食品衛生監視指導 (14,830千円) ① 食品衛生推進員「京の食“安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の放射性物質、添加物等の検査体制を充実し、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 食品検査 (4,397千円) ① 府内に流通している食品等の検査を行い、その結果を定期的に公表することにより食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 遺伝子組換え食品検査 (4,809千円) ① DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより、食の安心・安全を確保する。</p> <p>○ 拠点保健所業務管理基準(GLP)導入 (4,625千円) ① GLP(業務管理基準)の導入により、精度管理体制の構築、検証体制の整備を図り、検査の信頼性を確保する。</p> <p>○ 食品表示パトロール (1,630千円) ② 産地偽装など食品表示に関する事件が多発する中、関係職員が合同巡回調査を実施することにより、違反事実に対処的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。</p>		
担当課・担当名	①生活衛生課 ②食の安心・安全推進課	食品衛生担当 食の安全担当	課・担当 電話番号 075-414-4773 075-414-5654

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京野菜スクールガーデン事業費		
予算額	2,800千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>小・中学校における食農体験や、学校を中心とした「きょうと食いく先生」の派遣など、全世代に対する食育活動を支援</p>		
	<p>2 事業概要</p> <p>(1)エディブルスクールヤード事業 1,000千円</p> <p>①学校農園の整備に係る指導者の派遣 ②学校等へ「きょうと食いく先生」を派遣</p> <p>(2)食育応援団推進事業 660千円</p> <p>①食育応援団員養成講座開催 広く府民に食育の重要性を浸透させるための食育シンポジウムや食育パネルディスカッションの実施</p> <p>②食育応援団活動 食育等の推進のための先進事例紹介セミナーなどを開催</p> <p>(3)市町村食育推進事業 1,140千円</p> <p>市町村の食育推進リーダーの活動などを支援</p> <p>*エディブルスクールヤード 1995年に米カリフォルニア州の公立中学で、学校改革として始まった食育菜園の教育。エコロジーを理解し、自然とかわり、生命（いのち）の循環を教えるとともに、畑、キッチン、食卓から共感と思いやり、忍耐と自律心を学ぶ。</p>		
担当課名	食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当	課・担当 電話番号	075-414-5656

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	食の味 ^み らい故郷づくり事業費		
予算額	2,100千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>保育所や幼稚園等における調理体験など、未来を担う子どもたちへの食育活動により、日常の食育を推進する体制を整備し、子供の味^み蕾の発育と家庭への食育波及効果を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)食育KIDS応援 1,500千円</p> <p>①保育所及び幼稚園における子ども用調理器具の貸出支援 ②「食育のたね交付金」によるNPOや任意団体等の食育活動支援</p> <p>(2)食育推進計画の漫画化 370千円</p> <p>子どもたちが楽しく食の大切さを理解できるよう漫画化し、広くHP上で掲載する。</p> <p>(3)食育活動報告会 230千円</p> <p>食育活動の更なる充実を図るため、府民自らが食育の目標を設定し、実践する「食のみらい宣言・実践活動事業」を実施する。</p>		
担当課名	食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当	課・担当 電話番号	075-414-5656

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	食品ロス削減事業費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>食品ロス削減に向け、行政、食品製造、流通、小売等の関係者と府民等が一体となった取組を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>府や食品ロス削減運動に賛同する企業等が開催する調理研修会及び府民向けの食品ロス削減運動の展開</p>		
担当課名	食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当	課・担当 電話番号	075-414-5656

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	中山間地域等直接支払事業費																										
予算額	565,000千円	新規・継続の別	継続																								
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産活動の維持を支援し、多面的機能の確保を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)対象地域 地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域</p> <p>(2)対象農用地 農振農用地区域内の一団の農用地（1ha以上）であって、以下の基準を満たすもの</p> <p>①急傾斜地（田1/20、畑15度以上） ②自然条件により小区画・不整形な田 ③緩傾斜地（田1/100、畑8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの</p> <p>(3)対象行為 集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(4)対象者 集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者</p> <p>(5)実施期間：平成27年度～31年度</p> <p>(6)交付単価 (単位：円/10a)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align:center">急 傾 斜 (田1/20以上、畑15度以上)</th> <th colspan="2" style="text-align:center">緩 傾 斜 等 (田1/100以上、畑8度以上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td style="text-align:center">21,000</td> <td colspan="2" style="text-align:center">8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td style="text-align:center">11,500</td> <td colspan="2" style="text-align:center">3,500</td> </tr> <tr> <td>※加算単価</td> <td></td> <td style="text-align:center">田</td> <td style="text-align:center">畑</td> </tr> <tr> <td>(7)集落連携・機能維持加算 ・集落協定の広域化支援 ・小規模・高齢化集落支援</td> <td></td> <td style="text-align:center">3,000 4,500</td> <td style="text-align:center">3,000 1,800</td> </tr> <tr> <td>(4)超急傾斜農地保全管理加算</td> <td></td> <td style="text-align:center">6,000</td> <td style="text-align:center">6,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。</p> <p>(7)平成29年度対象見込面積 5,300ha</p>				急 傾 斜 (田1/20以上、畑15度以上)	緩 傾 斜 等 (田1/100以上、畑8度以上)		田	21,000	8,000		畑	11,500	3,500		※加算単価		田	畑	(7)集落連携・機能維持加算 ・集落協定の広域化支援 ・小規模・高齢化集落支援		3,000 4,500	3,000 1,800	(4)超急傾斜農地保全管理加算		6,000	6,000
		急 傾 斜 (田1/20以上、畑15度以上)	緩 傾 斜 等 (田1/100以上、畑8度以上)																								
田	21,000	8,000																									
畑	11,500	3,500																									
※加算単価		田	畑																								
(7)集落連携・機能維持加算 ・集落協定の広域化支援 ・小規模・高齢化集落支援		3,000 4,500	3,000 1,800																								
(4)超急傾斜農地保全管理加算		6,000	6,000																								
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906																								

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「命の里」農山漁村里力再生事業費		
予算額	94,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 過疎化・高齢化が進む農山漁村地域において、里の仕事人の伴走支援のもと、集落が連携した人づくりや地域課題解決の取組を総合的に支援し、安全な食料や水の供給など府民生活を支える「命の里」としての維持・再生を図る。</p>		
	<p>2 事業概要</p> <p>(1)里の人づくり事業 40,500千円 複数集落の連携や集落とNPO等多様な主体が連携した組織の育成及び活動支援、里の仕事人（府職員）・里の仕掛人（民間人材）・里の公共員（半公半民）の配置・派遣等を実施</p> <p>ア 地域連携組織設立活動支援事業 地域連携組織等の運営・活動に要する経費に対し補助 ○事業主体：地域連携組織 ○補助率：府 1/2 以内</p> <p>イ 里力再生推進事業</p> <p>①「里の仕事人」の配置・活動 地域連携組織等の運営等を支援</p> <p>②「里の仕掛人」の配置・活動 地域おこしや社会的起業等を実施（2地区）</p> <p>③「里の公共員」の増員配置・活動 過疎地域に居住し、地域の維持・発展をサポート（12地区）</p> <p>(2)むらの活力向上事業 54,000千円 複数集落等が地域ぐるみで意欲的に実践する取組を支援し、府域の均衡ある発展を目指す「海の京都・森の京都・お茶の京都」の実現を支える農山漁村地域の持続的発展を図る。 ○事業主体：地域連携組織等 ○補助率：府 1/2 以内（過疎化・高齢化地域は2/3以内） ○支援メニュー：都市農村連携、地域資源活用、生活支援、生きがいくくり</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成29年度当初予算案主要事項説明

政策企画部
府民生活部
農林水産部

事業名	「公共員」配置推進費			
予算額	37,450千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣旨・目的 地域に居住し、地域課題解決のための公共的役割を担う「公共員」を配置			
	2 事業概要			
	名称 (所属)	まちな公共員 (府民力推進課)	里の公共員 (農村振興課)	コミュニティ・ コンビニ公共員 (計画推進課)
	目的	地域に定着して多様な主体と協働しながら特定の地域課題に対する解決策の創出と推進をマネジメント	地域に居住し、じっくりと長期的に地域の維持・発展をサポートする人材を増員配置し、京都農村再生運動を推進	「コミュニティ・コンビニ」(小さな拠点の京都モデル)において、地域と企業が連携して行う持続可能なサービスの構築や運営を担う
	実施 手法	府が公募の上、直接雇用(非常勤職員)し、現地に配置		
	配 置 期 間	3年から5年を想定		
	配 置 数	新規2名 継続2名	12名(新規2名 継続10名)	4名
業 務 内 容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワークショップの開催 ▶ 目標・行動計画・グループづくりのための委員会の開催 ▶ 地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の魅力ある資源の活用 ▶ 農林水産業等地方産業の振興 ▶ 高齢者の見守り等地域住民の生活支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域と企業の連携をつくり、地域生活に資する新サービスの構築・運営など 	
担当課・ 担当名	計画推進課 府民力推進課 農村振興課	計画・地域担当 地域力再生担当 地域活性化担当	課・担当 電話番号 075-414-4538 075-414-4452 075-414-4906	

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	耕作放棄地再生推進事業費		
予算額	16,300千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨 移住者等の営農活動や再生作業等の支援及び京都モデルファーム運動の推進により、耕作放棄地の再生・活用を促進</p> <p>2 事業概要 市町村長の申出を受けて指定する「移住促進特別区域」内における、農地活用及び耕作放棄地の再生・活用の取組を重点的に支援</p> <p>(1) 地域農地活用支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住者を受け入れ、営農指導を行う地域による営農指導者の設置を支援 補助率等：府 1/2、市町村 1/2 (補助金額：20千円/月) ○ 半農半X・週末農家育成のための指導者付き農業体験農園の開設・運営を支援 相談窓口の設置、研修会の開催及びアドバイザーの派遣 <p>(2) 耕作放棄地再生・営農条件整備支援事業 耕作放棄地の再生利用のための移住者等による障害物の除去・整地や簡易な基盤整備を支援 補助率：国 1/2、府 1/5、市町村 1/5</p> <p>(3) 京都モデルファーム推進事業 モデルファーム推進員を設置し、企業・NPO等からの農地相談対応や活動団体、受入集落の掘り起こし及び合意形成等を推進</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農地担当	課・担当 電話番号	075-414-4910

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	アグリイノベーション創出事業費		
予算額	49,000千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 産学官の共同研究を進めるための研究コンソーシアム形成により、革新的技術の開発と事業化を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 次世代型農業技術研究コンソーシアムの設置・運営（新規） 大学、民間企業、公的機関・団体との共同研究体制（研究コンソーシアム）を構築し、研究成果の普及によって農業経営の向上と次世代の人材を育成する</p> <p>② 産学官連携による研究開発の実施 京都大学木津農場や府立大学、府内企業との共同研究により、以下の分野の技術開発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代農業システム開発分野（一部新規） 光透過性有機薄膜太陽電池（OPV）のビニールハウス栽培への利用や新たに電気を熱源とする新型てん茶機の実用化による抹茶の高品質・省エネ生産技術 ・ ICT、IoT活用によるスマート農業分野 スマートフォン・ドローン画像を活用した酒米の肥料必要量や病害虫診断技術、センサーを活用した移設栽培環境の最適化技術 ・ 農産物の高機能性・高付加価値技術分野（新規） 高機能性エンジンの新品種育成と栽培技術確立、非破壊検査による成分含有量保証技術 <p style="text-align: center;">※ 国の競争的資金を活用</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「お茶の京都」を支える宇治茶生産総合対策事業費		
予算額	33,500千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>プレミアム宇治茶認証制度による宇治茶のPRをはじめ、荒廃茶園対策や世界遺産登録等、「お茶の京都」の生産を支える総合対策を実施</p>		
	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 宇治茶ブランド力強化事業 2,000千円 「プレミアム宇治茶認証制度」による認証茶のPRや「お茶の味表現チャート」を活用した「バイヤーズガイド」による販売促進により、宇治茶ブランドを強化</p> <p>(2) 宇治茶景観継承支援事業 20,000千円 宇治茶生産の景観維持のため、「山なり茶園」の景観に配慮した被覆棚などの生産設備の整備等を支援</p> <p>(3) 宇治茶荒廃茶園防止モデル事業（新規） 1,500千円 茶園荒廃を防ぐため、新たに茶園管理に取り組む法人への機械整備支援により、農業法人による茶園の維持管理・活用モデルを構築</p> <p>(4) 宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業 10,000千円</p> <p>① 「宇治茶の文化的景観」資産価値向上 宇治茶の世界文化遺産登録に向けて、国際カンファレンスの開催による国際的評価の獲得や、地域カンファレンスの開催による地元との価値の共有により、提案書を改定</p> <p>② 世界文化遺産気運醸成 世界文化遺産登録を応援する府民運動の輪を広げるために、府民の気運醸成、府民協働及び情報発信の取組を推進</p>		
担当課名	農産課 宇治茶・特産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4944

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	茶業研究所機能強化事業費												
予算額	323,000千円	新規・継続の別	継 続										
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>企業・大学等との連携・交流や機能強化を図るため、茶業研究所のリニューアルを実施</p> <p>2 機能強化の概要</p> <p>これまでの新品種育成やお茶の栽培・製造に関する研究に加え、以下の3つの機能強化を実現するために必要な施設・設備を整備</p> <p>① 食品加工や機能性を生かした商品開発 ② 科学的根拠に基づく宇治茶の価値・魅力の発信 ③ 高い経営力と情報発信力を備えた茶業の担い手の育成</p> <p>3 建物の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>整備場所</td> <td>現在地（宇治市白川中の藪1番地）</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）</td> </tr> <tr> <td>構造・規模</td> <td>・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡</td> </tr> <tr> <td>施設構成</td> <td>・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>323,000千円 （²⁹～³⁰債務負担行為額 85,000千円） ※ 工期：28～30年度</td> </tr> </table>			整備場所	現在地（宇治市白川中の藪1番地）	敷地面積	45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）	構造・規模	・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡	施設構成	・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等	事業費	323,000千円 （ ²⁹ ～ ³⁰ 債務負担行為額 85,000千円） ※ 工期：28～30年度
	整備場所	現在地（宇治市白川中の藪1番地）											
敷地面積	45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）												
構造・規模	・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡												
施設構成	・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等												
事業費	323,000千円 （ ²⁹ ～ ³⁰ 債務負担行為額 85,000千円） ※ 工期：28～30年度												
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968										

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都牛輸出促進1億円事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>輸出認定基準に対応した京都市中央卸売市場第二市場の整備等を支援することにより、京都牛の輸出促進やブランド力向上を図る取組を推進 (10年間で1億円を支援)</p>		
	<p>2 事業概要</p> <p>(1) 京都市中央卸売市場第二市場整備支援事業 9,500千円</p> <p>牛肉の輸出対応に必要なとなる施設の整備を支援 ・補助率：1/2</p> <p>(2) 「Kyoto Beef 雅」PR事業 500千円</p> <p>駐日外国公館等を対象とした「Kyoto Beef 雅」PRイベントやインバウンド向けの食情報等の提供を実施 ・補助率：1/2</p>		
担当課名	畜産課 畜産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4983

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農地集積規模拡大支援事業費		
予算額	272,902千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 担い手への農地集積を加速化し、農業経営の規模拡大と経営力強化を支援</p> <p>2 事業概要 農業経営の規模の拡大、農用地の集団化、新規農業参入の促進等により、担い手のニーズに対応した農地集積の加速化を推進</p> <p>(1) 農地中間管理機構事業 103,337千円 農地の中間受け皿となる京都府農地中間管理機構が、借受農地の保全管理や現地調査、担い手へのマッチング等を実施 また、地域の核となり地元調整や貸出農地の掘り起こしを担う「集積仕掛人」を全市町村に配置</p> <p>(2) 機構集積協力金交付事業 157,545千円 京力農場プランに基づき、農地中間管理機構にまとまって農地の貸付けを行った地域及び同機構に対する貸付けに伴って離農又は経営転換する者等に対して協力金を交付</p> <p>(3) 機構特例事業 520千円 農地の買入に必要な資金の借入に係る利子助成</p> <p>(4) 農地と人のマッチング強化事業（新規） 11,500千円 貸付希望農地における集落外の借受希望者向け現地見学会の開催や借受希望者のニーズに応じた遊休農地等の簡易な条件整備を支援</p>		
担当課名	経営支援・担い手育成課 農業農村創生担当	課・担当 電話番号	075-417-6868

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農と環境を守る地域協働活動支援事業費										
予算額	1,080,000千円	新規・継続の別	継 続								
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 趣 旨 地域ぐるみでの地域資源の基礎的保全活動、質的向上活動や、施設の長寿命化のための活動を支援することで、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域コミュニティの構築による地域力再生を図る。										
	2 事業概要										
	事業区分 農地維持 支 払	事 業 内 容 農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動及び農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成等への支援 <table border="1" data-bbox="647 1008 1289 1187"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>3,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>250円/10a</td> </tr> </table>			支援単価	田	3,000円/10a	畑	2,000円/10a	草地	250円/10a
	支援単価	田	3,000円/10a								
畑		2,000円/10a									
草地		250円/10a									
資源向上 支 払 (共同活動)	地域資源の質的向上を図る共同活動（農業用施設の軽微な補修、農村環境保全活動の幅広い展開等）への支援 <table border="1" data-bbox="647 1317 1289 1496"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>2,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>1,440円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>240円/10a</td> </tr> </table> ※農地・水保全管理支払の5年以上継続地区、または長寿命化に取り組む地区は7.5割単価 ※多面的機能の増進を図る活動に取り組めない場合は5/6単価			支援単価	田	2,400円/10a	畑	1,440円/10a	草地	240円/10a	
支援単価	田	2,400円/10a									
	畑	1,440円/10a									
	草地	240円/10a									
資源向上 支 払 (長寿命化)	農業用施設の老朽化部分の補修や更新への支援 <table border="1" data-bbox="647 1697 1289 1877"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>4,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>400円/10a</td> </tr> </table> ※平成28年度以降の新規認定組織について、対象面積が100ha未満、かつ直営施工しない場合は5/6単価			支援単価	田	4,400円/10a	畑	2,000円/10a	草地	400円/10a	
支援単価	田	4,400円/10a									
	畑	2,000円/10a									
	草地	400円/10a									
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906								

平成29年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
農林水産部

事業名	林業「森世紀」創造戦略事業費		
予算額	966,950千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した川下～川上の総合対策を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 府内産木材需要拡大事業費 135,060千円【林務課】</p> <p>CLTを含めた府内産木材の利用を促進し、公共施設や民間施設等における需要を拡大するとともに、府民に対し木材利用や木の文化を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木のまちづくり推進事業費（一部新規） CLT加算制度の創設：通常補助率1/2+CLT加算1/4 (上限：15,000千円、通常分上限：10,000千円) ○府民利用施設等木質化事業費 等 <p>(2) 府内完結型木材産業構築事業費 194,400千円【林務課】</p> <p>府内完結型の木材産業体制の構築に向け、CLTの普及促進や木材加工流通施設整備の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○CLT普及促進事業費（一部新規） ○林業・木材産業等振興施設整備事業費 等 <p>(3) 木材生産パイオニア事業費 279,990千円 【林務課、モデルフォレスト・全国育樹祭推進課、森林保全課】</p> <p>主伐や間伐を促進することにより、出材量を増やすとともに、豊かな森づくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな森づくり推進事業費（一部新規） ○京の森林文化を守り育てる支援事業費（新規） ○人と森をつなぐ環境整備事業費（新規）等 <p>(4) その他 357,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポスト育樹祭開催事業費（新規）【モデルフォレスト・全国育樹祭推進課】 ○豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業費 【林務課】 ○地域振興計画推進費（一部再掲）（新規） 【計画推進課】 		
担当課名	計画推進課 林務課 モデルフォレスト・全国育樹祭推進課 森林保全課	計画・地域担当 企画・計画担当 林業振興担当 木材産業担当 課・担当 電話番号 ギャラリー推進担当 森林土木担当	705-414-4347 705-414-5016 705-414-5006 705-414-5009 705-414-5005 705-414-5028

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ポ ス ト 育 樹 祭 開 催 事 業 費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとさせないため、森林保全の観点から「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催</p>		
	<p>2 事業概要</p> <p>木材需要の喚起・消費拡大</p> <p>(1)「京都森林文化祭(仮称)」の開催 5,000千円 木材消費の拡大や森の京都エリアの魅力を発信 ・Woodyコンテスト(木造住宅コンペ) ・展示即売会・特産品等の物産展</p> <p>森を学ぶ・体験する</p> <p>(2)「森林の恵み感謝祭」の開催 4,000千円 森の京都エリアで府民参加の森林づくりを推進 ・森について学ぶ「講演会」 ・森の癒しを体感「森林のコンサート」 ・森づくり活動を体験「育樹活動」 ・森林の恵み市(地域の食や森の恵み、緑化樹販売等)</p> <p>次世代の育成</p> <p>(3)「京都山キッズ交流会」の開催 1,000千円 緑の少年団とモデルフォレスト運動参画企業の子どもたちを一堂に会し、次世代育成を図る ・活動発表大会 ・講演会 ・野外活動 ・自然観察会</p>		
担当課名	モデルフォレスト・全国育樹祭推進課 モデルフォレスト推進担当	課・担当 電話番号	075-414-5005

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都モデルフォレスト推進事業費		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 府民参加型モデルフォレスト推進事業 府民参加の森林づくり活動を推進するとともに、(公社)京都モデルフォレスト協会が行う取組を支援</p> <p>(2) 森づくり交流促進事業 モデルフォレスト活動に関心のあるNPOや企業等と地域とのマッチングや森林づくり活動団体等の交流を促進</p>		
担当課名	モデルフォレスト・全国育樹祭推進課 モデルフォレスト推進担当	課・担当 電話番号	075-414-5005

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	保安林等適正整備事業費		
予算額	442,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 災害発生が危惧される集落に関わりの深い保安林等において、安心・安全な地域づくりのため、間伐等の森林整備や流木対策及び治山施設の整備等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 保安林等機能強化事業費 112,000千円</p> <p>① 集落に関わりが深い重要な保安林で間伐等の森林整備を実施 【森林保全課】</p> <p>② 要適正管理森林等災害予防事業費 【林務課】 要適正管理森林において予防的に行う危険木除去等に対する支援等</p> <p>○ 補助率等 1 / 2 以内（補助上限額：100万円）</p> <p>○ 事業内容 府民の生命・身体に危害を及ぼすおそれを除去するため、危険木の除去等を実施</p> <p>(2) 防災施設整備事業費 210,000千円 山地災害の未然防止のため整備が必要な溪流等で、治山ダム等を設置 【森林保全課】</p> <p>(3) 未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業費 120,000千円</p> <p>① 未来へつなぐ安心・安全の森づくり支援費 【森林保全課】 地域住民による森林整備活動を支援</p> <p>○ 定額補助（補助上限額：100万円／箇所）</p> <p>○ 事業内容 地域住民による森林の手入れ、危険木の取り除き等を実施</p> <p>② 未来へつなぐ安心・安全の森づくり整備費 【森林保全課】 保安林において、府が流木の原因となる危険木の除去等を実施</p>		
担当課名	林 務 課 企画・計画担当 森林保全課 森林土木担当	課・担当 電話番号	075-414-5016 075-414-5028

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	有害鳥獣被害半減総合対策事業費		
予算額	512,400千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>メスジカやニホンザルの悪質個体の捕獲強化に加え、農地周辺での積極的な捕獲による被害対策、捕獲の担い手育成等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 生息数半減の推進 266,000千円 有害鳥獣捕獲、隣接府県との広域捕獲、個体処分、狩猟期の捕獲等に対する支援及び指定管理鳥獣捕獲等事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地侵入有害鳥獣緊急捕獲事業（新規） ニホンジカ、イノシシによる農地への侵入個体を対象に、夜間の行動調査や ICT を活用した捕獲檻の購入を支援し、生息数の半減を目指す <p>(2) 被害半減の推進 234,000千円 防護柵の設置による農林業被害対策やニホンザルの悪質個体除去による生活被害対策等を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニホンザル加害群れ半減緊急対策事業 加害レベルの高い群れについては市町村による個体数調整を支援する一方、人家近くに出没する悪質個体については麻酔銃による捕獲を強化し、生活被害の減少を目指す <p>(3) 担い手倍増等の推進 12,400千円 新規担い手の確保のための勧誘活動や捕獲班員の短期育成研修等の支援</p>		
担当課名	森林保全課 野生鳥獣担当	課・担当 電話番号	075-414-5023

平成29年度 当初予算案主要事項説明

環 境 部
農 林 水 産 部

事業名	農林水産業基盤整備事業費		
予算額	6,620,768千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>ブランド京野菜などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>■生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業競争力の強化に向けた生産性の高い農地の整備 【農村振興課】 （国営亀岡中部地区、福知山市川北地区【新規】等） ・効率的な間伐に必要な路網の整備 【林務課、森林保全課】 ・老朽化の進む施設の長寿命化に向けた整備 【農村振興課、水産課、森林保全課】 ○農業水利施設（木津川市木津用水地区【新規】）、漁港施設 等 <p>■農山漁村地域の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村集落における污水处理施設の整備（農業集落排水） 【水環境対策課】 ・農村を災害から守る排水路、ため池等の整備 【農村振興課】 （巨椋池排水路、南丹市口人地区【新規】等） ・木材加工施設の整備 【林務課】 ・土砂・立木等の流出を防止する治山ダムの整備 【森林保全課】 		
担当課名	水環境対策課 計画担当 農村振興課 計画基盤担当 水産課 漁業漁村担当 林務課 林業振興担当 木材産業担当 森林保全課 森林土木担当	課・担当 電話番号	075-414-5209 075-414-5048 075-414-4994 075-414-5006 075-414-5009 075-414-5028